

市内4高校の就職希望者に対する本市の支援について

代表質問



政友会
高崎 和夫 議員

大田原マラソンと与一まつりについて

質問…本市には4つの高校がある。卒業後の就職希望者に本市の企業等に就職をしてもらえるか又できるかの支援について伺います。

答弁…黒羽高校は、地元への定着率が高い。高校卒業者の若者に地元で就職して頂ける環境を整えることが人口減少問題の解決の糸口となると考えています。

質問…就職のためには車の免許も必要。市内企業等就職者にも必要。市内企業等就職者に2〜3万円程度のスーツ代を本市が先頭に立つての支援が考えられないか伺います。

答弁…地元で高校卒業で就職した時に、就職祝い金制度の創設については、地元で若者をどうして残すかという観点から、政策の最優先課題に上げてもいいのではないかと。例えば、運転免許証の場合、30万円近くかかる時に、一時金として入学の奨学制度みたいなものを設けて就職してから徐々に返していけばいいとか、半額返せばいいと言う支援の仕方もあると思う。一時金で3万円〜5万円を支援しても、即戦力として地域の担い手となり、今度は納税者としてリターンが来る。前向きに奨学制度を検討してまいりたい。

質問…大田原マラソンの令和5年再開に向けた進捗について伺います。

答弁…令和5年度再開に向けて公認コースの決定を最優先課題として協議を進めています。これまで5回の準備委員会を開催し、コース決定の最終段階に入っており、令和4年度開催予定の第6回準備委員会において、複数候補から最終決定できるよ

質問…大田原マラソンの令和5年再開に向けた進捗について伺います。

答弁…令和5年度再開に向けて公認コースの決定を最優先課題として協議を進めています。これまで5回の準備委員会を開催し、コース決定の最終段階に入っており、令和4年度開催予定の第6回準備委員会において、複数候補から最終決定できるよ

質問…大田原マラソンの令和5年再開に向けた進捗について伺います。

答弁…令和5年度再開に向けて公認コースの決定を最優先課題として協議を進めています。これまで5回の準備委員会を開催し、コース決定の最終段階に入っており、令和4年度開催予定の第6回準備委員会において、複数候補から最終決定できるよ

質問…大田原マラソンと与一まつりについて伺います。

答弁…検討委員会において、祭りの名称を「与一まつり」とし8月の第1週の日曜日と翌土曜日の2日間で開催。会場は中央多目的公園を中心に、市道大田原野崎線の白河信用金庫前交差点から、山二商店前交差点の間。さらに、山二商店前交差点から中央通り、金燈籠交差点の間。祭りのメインイベントは踊りと武者行列を中心に構成することで承認されました。